

麦づくり情報 第3号

令和7年(2025年)2月28日
佐賀県農業試験研究センター
佐賀県米麦改良協会

◎農試作況試験における麦類の生育(2月28日調査)

品種	播種期 (月/日)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)	概況 (平年・平均と比較して)
シロガネコムギ	11/20	本年	17.5	979	7.0	45.6	[気象] 2/11~2/27まで ◆平均気温…平年より低い (平年差-2.1℃) ◆日照時間…長い(平年比144%) ◆降水量…少ない(平年比33%) [生育] ◆草丈 全品種・全作期において、過去10年間で最も低いレベル。 ◆茎数 11/20播「シロガネコムギ」は多く、その他は少ない。 ◆葉齢 11/20播「シロガネコムギ」はやや少なく、その他は少ない(-1.2~2.1L)。 ◆葉色(SPAD値) 11/20播「シロガネコムギ」、両作期の「サチホゴールド」は平年並み、12/10播「シロガネコムギ」はやや淡い、「はるか二条」は濃い。 ◆生育ステージ(次頁参照)
		平年	37.7	757	7.3	46.2	
	平年比(差)	46	129	-0.3	-0.6		
	12/10	本年	9.4	557	5.0	46.5	
平年		26.6	685	6.2	48.4		
平年比(差)	35	81	-1.2	-1.9			
サチホゴールド	12/2	本年	12.1	878	5.1	44.9	◆草丈 全品種・全作期において、過去10年間で最も低いレベル。 ◆茎数 11/20播「シロガネコムギ」は多く、その他は少ない。 ◆葉齢 11/20播「シロガネコムギ」はやや少なく、その他は少ない(-1.2~2.1L)。 ◆葉色(SPAD値) 11/20播「シロガネコムギ」、両作期の「サチホゴールド」は平年並み、12/10播「シロガネコムギ」はやや淡い、「はるか二条」は濃い。 ◆生育ステージ(次頁参照)
		4ヵ年平均	32.1	1199	7.2	44.6	
	前年比(差)	38	73	-2.1	+0.3		
	12/10	本年	11.1	802	5.0	44.9	
平年		22.9	929	6.3	45.7		
平年比(差)	48	86	-1.3	-0.8			
はるか二条	12/2	本年	12.3	741	5.2	49.8	◆草丈 全品種・全作期において、過去10年間で最も低いレベル。 ◆茎数 11/20播「シロガネコムギ」は多く、その他は少ない。 ◆葉齢 11/20播「シロガネコムギ」はやや少なく、その他は少ない(-1.2~2.1L)。 ◆葉色(SPAD値) 11/20播「シロガネコムギ」、両作期の「サチホゴールド」は平年並み、12/10播「シロガネコムギ」はやや淡い、「はるか二条」は濃い。 ◆生育ステージ(次頁参照)
		4ヵ年平均	30.0	1038	7.2	48.1	
	前年比(差)	41	71	-2.0	+1.7		
	12/10	本年	12.2	778	4.6	50.2	
7ヵ年平均		25.6	902	6.4	48.1		
平年比(差)	48	86	-1.8	+2.1			
留意点	◆2月以降気温は低く、降水量も少なく推移したことから、全般的に生育が停滞している。 ◆草丈、茎数は過去10年で最も少ないレベルの生育量となっている。葉齢も同様に少なく、幼穂形成始期は平年より7日程度遅い。今後、生育ステージや気象条件に応じた管理に心がける。①麦踏は茎立期まで可能であるが、節間伸長開始期以降の麦踏は、土壌水分が高ければ根の働きを阻害する可能性があるため控えること。②培土は耐寒性の向上や排水対策、雑草防除などの効果とともに肥効を高める効果があるため、穂肥施用後に実施すること。						

注意事項

- 1) 「シロガネコムギ」: 苗立数について11/20播種は120本/㎡、12/10播種は150本/㎡。施肥量は5.5-4.5-4.0。平年値は収量が過去7ヵ年の内、収量が最高年と最低年の値を除いた5ヵ年分の平均。
- 2) 「サチホゴールド」: 苗立数は150本/㎡。施肥量は6.0-4.0-2.0。平年値について12/2播種は試験を開始したR3年産から4ヵ年分の平均、12/10播種は収量が過去7ヵ年の内、最高年次と最低年次の値を除いた5ヵ年分の平均。
- 3) 「はるか二条」: 苗立数は150本/㎡。施肥量は6.0-4.0-4.0。平年値について12/2播種は試験を開始したR3年産から4ヵ年分の平均、12/10播種は試験を開始したH30年産以降の7ヵ年の平均。

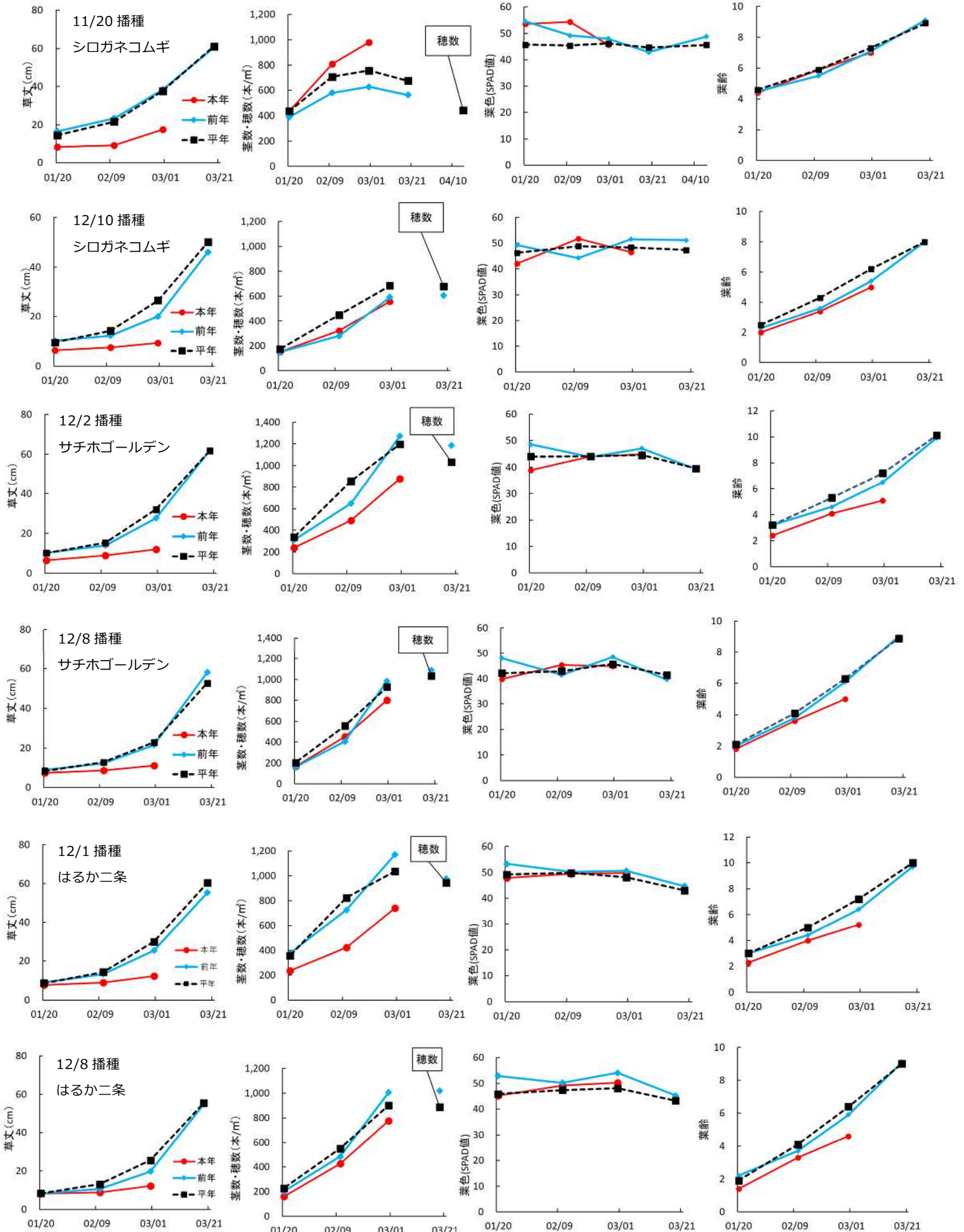
◎ 本年の生育ステージ

品種	播種期 (月/日)	年次	幼穂形成始期 (月/日)	節間伸長開始期 (月/日)	莖立期 (月/日)	出穂期 (月/日)
シロガネコムギ	11/20	本年	2/3	未	未	未
		前年	1/26	2/11	2/13	3/24
		平年	2/2	2/19	2/19	3/30
		平年差	+1	—	—	—
	12/10	本年	未	未	未	未
		前年	2/14	2/20	2/24	4/1
サチホゴールド	12/2	本年	2/13	未	未	未
		前年	1/29	2/16	2/20	3/28
		平年	2/6	2/23	3/2	3/29
		平年差	+7	—	—	—
	12/10	本年	2/18	未	未	未
		前年	2/2	2/20	2/20	3/31
はるか二条	12/2	本年	2/13	未	未	未
		前年	1/29	2/16	2/20	3/29
		平年	2/6	2/22	3/4	3/28
		平年差	+7	—	—	—
	12/10	本年	2/18	未	未	未
		前年	2/1	2/20	2/20	3/31
12/10	平年	2/11	2/27	2/28	4/1	
	平年差	+7	—	—	—	

注 1) 平年値の算出方法については前頁を参照。

注 2) 1 個体当たり主茎及び生育旺盛な分げつ 2 本の計 3 本の幼穂を計測。節間長は根の付け根から幼穂の根本までの長さを計測。幼穂形成始期は幼穂長 1mm が 30%以上 に達した時期を記載。節間伸長開始期は節間長 5mm が 80%以上 に達した時期を記載。

◎本年の生育推移



2025年産 麦作期間気象図 アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当

